

## 感謝報告

いずみの活動をおぼえて祈りとともにたくさんのご支援を頂き、心から感謝申し上げます。日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室いずみへの指定献金をご報告いたします。記載落しミス等ございましたらご連絡ください。(敬称略・順不同・特別記載のない団体は教団の教会・団体です)

### \*個人献金 ( )内は回数

柳幸三郎、永瀬惺子、唐牛健三、大友佳代子、大山まり、後藤学、村上満里子、田村久美、大野康子、丹羽佳也子、小島百合子、岩永ゆうこ、鈴木道也・摩耶子(2)、山下司郎、小井沼真樹子、遠矢沢代・温子、服部賢治、内田淑子(2)、ジェフリーメンセンディーク、三田村瑛子、岡田滉子、布田秀治、木村艶子、宮本さと子、匿名 (合計672,420円)

### \*団体献金 ( )内は回数

横浜港南台教会震災支援グループ麦の会(2)、大阪教区教会婦人連合(2)、御影教会(7)、大阪教区北摂地区合同婦人の会、広石教会、淡路三原伝道所(2)、洲本教会、千里聖愛教会(2)、北海教区東日本大震災支援委員会、仙台青葉荘教会東日本大震災支援委員会、岩手地区教師会、大阪教区スタディツアー、交野教会、宮崎清水町教会、四国教区事務所、喜界教会、宮城中地区婦人会、五所川原教会、大泉ベテル教会、瀬戸内教会かな保育園、横浜大岡教会、仙台北三番丁教会、若草教会、山形六日町教会婦人会、平塚教会、青山学院短期大学シオン寮、佐世保教会女性会、いずみ愛泉教会子どもの教会、宮崎清水町教会女性会、若松浜ノ町教会、(学)神愛学園わかば幼稚園、長崎銀屋町教会、静岡一番町教会、(学)岩手キリスト教学園認定こども園ひかりの子、津谷崎教会、仙台市民教会、いずみ愛泉教会オリーブ会、秋田桜教会、旭川豊岡教会、「小さき声のカノン」上映・監督講演実行委員会in岩手、黎明幼稚園、貝塚教会、愛育幼稚園、所沢みくに教会、仙台東一番丁教会、男鹿教会こどもの教会、芦屋三条教会、広島南部教会、久方教会、いずみ愛泉教会、富士見町教会、九州教区筑後地区、奈良地区社会部、瀬戸内教会 (合計1,608,102円)

以上、感謝をもってご報告させていただきます。ご支援ありがとうございます。(2015年9月1日～2016年3月31日)

いずみの活動は国内外のキリスト教支援活動によって支えられています。この活動を続けていくために皆様のご協力をお願いいたします。いずみへの献金は下記専用口座をご使用下さい。

### ご支援のお願い

送金先金融機関 ゆうちょ銀行  
口座番号 02220-5-137681  
加入者名 日本基督教団東北教区  
通信欄に「放射能問題支援対策室いずみ指定献金」とお書きください。

## いずみの会

\*2015年度会員数 と会費入金総額 (2015年4月1日～2016年3月31日)

正会員 131名(176口) 賛助会員 85名(205口) 団体正会員 21団体(28口) 会費合計 873,000円

新規ご入会や継続的なご支援ありがとうございます。心からの感謝をもってご報告いたします。

運営委員長 布田秀治(いずみ愛泉教会)

運営委員 明石義信(常磐教会) 小林休(鳴子教会)  
保科隆(福島教会) 最上千絵子(仙台北教会)

室長 保科隆(福島教会)

顧問 篠原弘典(原子核工学専門家)

スタッフ 後藤重雄 渡辺広衛 服部賢治 笠松絹子

### 日本基督教団東北教区 放射能問題支援対策室いずみ

UCCJ Tohoku District Nuclear Disaster Relief Task Force "IZUMI"  
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目13-6  
TEL/FAX 022-796-5272  
メールアドレス izumi@tohoku.uccj.jp  
ホームページ http://tohoku.uccj.jp/izumi/



# いずみ

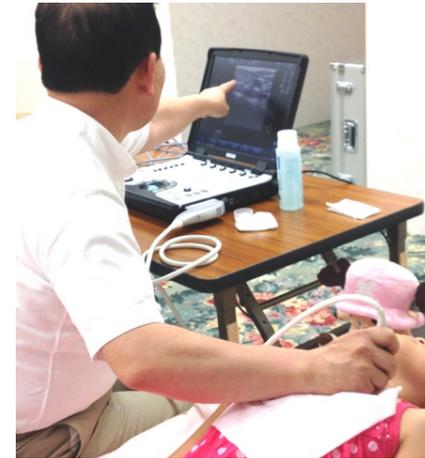
題字 丹治正雄氏

## 放射能問題支援対策室いずみの2015年度を振り返る

放射能問題支援対策室「いずみ」が国内外の多くの方々からの祈りとご支援に支えられてこの1年、活動することができました。UMCOR(アメリカ合同メソジスト教会海外災害支援部)やCGMB、日本基督教団や東北教区からの経済的な支援にも大きく支えられました。この一年はまさにフル回転でした。意義深い、豊かな働きがスタッフの方々の協力のもと進められました。感謝です。

東北教区放射能問題支援対策室いずみ 運営委員長 布田秀治

## 甲状腺エコー検診を受けた子どもは1000人を越えました！



2016年3月13日に実施した甲状腺検査で26回を数え、累計で1306の方が受診されました。募集を開始するとすぐに一杯になる状態で、期待と要望の大きさを思われます。ご承知のように、チェルノブイリ原発事故は、今もなお人々のからだところを蝕んでいます。放射能に県境はありません。原発事故後の日本においても、子どもたちの健康状態を長期的に確認・フォローしていくために、甲状腺検査はこれからも重要な取り組みとして位置づけ、続けていく必要があります。(左写真は2015年7月26日、宮城県柴田町での甲状腺検査の様子 検診医：寺澤政彦医師)

### 2016年3月末までの検診累計結果

(2013年12月8日～2016年3月13日 全26回、すべて宮城県内で実施。2011年3月11日当時、18才以下の方を子どもとする。)

	A 1 判定	A 2 判定	B 判定	C 判定	合計
総検診数 (大人14人含む)	6 4 4 人	6 3 8 人	2 4 人	0 人	1 3 0 6 人
子どものみ	6 3 7 人	6 3 5 人	2 0 人	0 人	1 2 9 2 人

判定基準(福島判定)

A1: 結節やのう胞を認めないもの

A2: 5mm以下の結節、20mm以下ののう胞を認めたもの

B: 5.1mm以上の結節、20.1mm以上ののう胞を認めたもの

C: 直ちに二次検査を要する

今後の甲状腺エコー検診予定

5月15日(日)宮城県仙台市 定員65名

6月26日(日)宮城県栗原市 定員60名

最新の案内については「いずみ」HPをご参照ください。

## 手作りかごに注文が来る喜び

葛尾村は福島県浜通りにある山村です。江戸時代中期までは「葛尾大尽」と呼ばれる大富豪松本一族によって栄華を誇っていたこともあります。

近年は畜産やシイタケ栽培が盛んな村でしたが、福島第一原子力発電所事故の影響で村内全域が警戒区域又は計画的避難区域に指定され、全村民が村外に避難し、大部分の方は福島県田村郡三春町の仮設住宅に移り、避難生活を続けられています。葛尾村での生活とは比べようのない長期に渡る仮設暮らしの中で、避難された女性たちは将来や健康面の不安を抱えつつも、避難生活を少しでも意義あるものに

しよう、という思いでクラフトテープによるかごを制作してきました。いずみはかごの紹介や販売のお手伝いをしていますが、昨年には、宮城の津波被災者とのコラボレーションが実現し、多くの人に知っていただきました。

今年2月、宅配生協あいコープみやぎさんが企画した「被災地応援☆手作りグッズ企画」で、25個用意したかごに93個の注文があつまり、かご作りの女性たちには大きな励みとなりました。



写真上 三春町仮設住宅集会所の前で

後列左より 大友さん・前原さん・齋藤さん・佐々木さん

前列左より 牧子さん・根岸さん

写真右 集会室でかご作りの相談をする女性たち



## 故郷の歴史を人形劇で上演する「元気な葛尾村プロジェクト」の劇団員が

### 宮城県・鳴子教会を訪れました。

葛尾村からの避難者で構成され、篠木兵(しのき いさむ)さんがリーダーを務める、人形劇団「元気な葛尾村プロジェクト」の劇団員が宮城県鳴子温泉で新年会を実施。翌日の2月28日（日）、いずみ運営委員の一人である小林牧師が仕える鳴子教会の礼拝に参加されました。教会に入るのは初めてという皆様でしたが、礼拝参加者を前に、いずみや教会員の方々への日頃の支援について感謝の気持ちを伝えられました。



写真は感謝の言葉を伝える篠木さん

### ご来所お待ちしております。

昨夏、放射能問題の取組みを強化してゆくため、東北教区、日本キリスト教団のご支援を授かり、仙台市青葉区錦町のいずみ事務所を全面的に改装しました。

事務室の他、「いずみ談話室」を設置しました。会議等だけでなく、甲状腺検査の会場としても使用できるようになりました。お気軽にお立ち寄りください。スタッフ・運営委員一同お待ちしております。



「いずみ」内での 第23回甲状腺検査診察時の様子  
2015年12月20日 検診医は大塚純一医師

## 2016年度 「いずみ談話室」でのプログラムご案内

談話スペース「いずみ談話室」を設けたことにより、ハード面での環境を整えました。また、2Fには仙台食品放射能計測所「いのり」が入り、食品や土壌などの放射能計測機能が備わりました。今後、放射能全般に関するキーステーションとして、ご活用していただいたり、ご来所いただけましたら幸いです。4月以降、いずみ談話室を利用したプログラムが準備されています。それぞれご紹介いたします。

### ☆お母さんの心と体のお茶っこ会「ここから」 4月26日（火）午前10時～12時

日頃話にくい放射能に関する不安や心配について、ゆったり、お茶でものみながら、おしゃべりしましょう！！

「ここから」は5月以降も定期的開催予定。いのり・いずみ共催

### ☆「美術あそび～かみいたはんが」 5月28日（土）午後15時～17時

おかあさんや子どもといっしょに紙版画をつくります。（対象：小学生高学年から大人）

### ☆「美術あそび～あかちゃんといっしょ」 5月31日（火）午前10時～11時

おかあさんとあかちゃんが楽しめる小さな美術あそびをします。ゆったり、のんびり。（対象：乳幼児と大人）

### ☆「美術あそび～子どもといっしょ」 5月31日（火）午後16時～17時

体を動かしたり、作って食べてみたりする美術あそびをします。考えながら遊びます。（対象：年長さんから小学生・大人）

「美術あそび」は毎月定期開催予定。ご参加希望の方はお申込み下さい。

### ☆不定期で山崎知行医師（大阪教区愛隣教会員）の健康相談会実施

（会津放射能情報センター、大阪教区の協カプログラム）

山崎医師の健康相談については、東北教区内の教会や附属施設など、お住まいの地域への訪問相談も可能です。ご要望をお寄せ下さい。上記各プログラムについて、いずみHPなどでご案内して参ります。それぞれ詳しくはいずみ事務局までお問合せ、ご連絡下さい。



かみいたはんが作品（越後しのさん）